ぴーちく ぱーちく

第85号

2018.5.25 発行

〒569-0082 大阪府高槻市明野町 10-15
ぷりんせす明野１Ｆ
編集･発行 ＮＰＯ法人自立支援センターたかつき
TEL:072-672-1294 FAX:072-668-3210
MAIL:wffcj830@yahoo.co.jp
URL: http://ciltakatuki.web.fc2.com/

神戸女子大に行ってきました

昨年と同じく神戸女子大学にゲストスピーカーとしてお話をしに行きました。

神戸女子大学のキャンパスはとても綺麗。学食を頂いて、教室でお話をさせてもらいました。3回生の学生90人の前で話しました。生い立ちの事、活動の事、介助者との人間関係について、90分で話しました。特に介助者との人間関係については「遠慮と配慮」をテーマにお話ししました。つまり、全然遠慮はしなくていいけれど、配慮はするべきであるという事。例えば、季節ごとにスリッパを変えてみたり、使いやすい調理器具を置いたり、時には介助者の悩みを聴くとか、自分はあそこに行きたいけれど、あなたはどこへ行きたいかとか、「何か心配事ない?」と聴くとか、このような「配慮」は全て、人間関係を作るうえで大切な事だと思います。自分の生き方はこうであると介助者に伝えるとか、自分の悩みを言う。そうすることで、介助者は「斎藤雅子という人はこんな人なんだ」と理解してくれるのです。

今回の講演は自分でも上手くいったと思いました。私の話の前でも後でも良いから介助者募集をさせて欲しいと、神戸の自立生活センターリングリングの中尾さんが要望されていて、彼女にもいろいろ話してもらえました。ちょうど中尾さんの介助者の女性が講義を聞いていた神戸女子大の学生さんと同級生で、講演の後に盛り上がり、とてもよかったです。後で中尾さんから「遠慮と配慮」の話をうかがえてためになりましたと、LINEが届きました。

やっぱり縁って、出会いもありますが本人がアクションを起こさないと生まれないのですね。世間は狭いって感じました。これからもどんどん出て行きますよ。人生は一度きりなんだからやりたいことをやり通したいと思います。

（斉藤雅子）

福山先生とともに
（2017年のようす）

まーさんのきまぐれコラム

～62歳のチャレンジ～

私はジュリーこと沢田研二さんの大大大ファンです。私にとってジュリーは、スターを通り越して、もはや神のような存在になりつつあるんです。彼は毎年40か所以上をまわるツアーを続けているのですが、2017年にはデビュー50周年の特別なツアーを始めました。シングル曲だけを50曲歌うというものでした。サビの部分とかワンコーラスだけですが。それでも彼の出したシングル曲の半分以下なんです。

私は、大阪、京都、神戸、岸和田、奈良のコンサートに車いす(足)を運びました。が、どうしても、大千秋楽の東京のＮＨＫホールに行きたくて……何でも即決める私なので、すぐジュリー友達にチケットを譲ってもらいました。大千秋楽は今年１月26日金曜日。行きは新幹線、帰りは高速バスを予約して、臨みました。ところが、介助をしてくれる予定だった人が急遽ダメになり、62歳の私が一人で行くことに……最初は少し不安でしたが、ジュリー友達が助けてくれるというので、結局、40代50代のころと同じ「行くぞ!」という気持ちが勝ちました。

京都9時55分発の新幹線まで介助者についてきてもらってトイレ介助だけしてもらい、新幹線の個室に閉じこもりました。気楽にサンドイッチを食べて薬を飲んで東京に着くのを待ちました。でも、前日からの大雪のために名古屋からは徐行運転をして、一時間遅れて東京に到着。東京駅から山手線で渋谷まで行きそこから歩きました。何しろＮＨＫホールにむかうのは十数年ぶり。人に道を聞きつつたどり着きました。道には雪が沢山残っていました。それでも、ようやくついてＮＨＫスタジオパークの係の女性二人に指示をしてトイレ介助をしてもらいました。過去の経験が役にたちました。後でジュリー友達と会ってそこでもトイレ介助をしてもらって会場に入りました。懐かしかったです。車椅子席に座っていたら他の車いすの人も４、５人来ていました。

コンサートが終わって興奮状態のまま、渋谷駅までのシャトルバスに飛び乗りました。ノンステップバスなんですね。半額の 110円を払って渋谷駅から山手線に乗って、東京駅の八重洲口の高速バスを待ってました。22時20分発のバスです。車椅子でも乗れる高速バスがあるのです。（ＪＲバスのレディースエコバス）待っている間にお土産を買いました。そして無事にバスに乗って一息、ごろ寝で眠って、大雪の影響で遅れたものの無事大阪駅に到着。８時に介助者と待ち合わせをしてトイレして、近くの喫茶店でモーニングを食べて、高槻に帰り、１４時からの有志の勉強会に参加して司会をしました。

自分でもビックリするぐらい、体力と気力があったんだと思いました。ちゃんちゃん!!

『あら！ほぉ～な人生』第３回目。大同さん編パート２です。タイムスリップして、大同さんの幼少期へ。大同ヒストリーの核心に迫っていきます。

私は俗にいう〝普通の顔〟で生まれました。ご存知の方もおられるかもしれませんが、あることが原因で、今の顔になりました。これぞ人間版・劇的ビフォーアフターのスタートです！

1983年3月7日、私は産声を上げました。母は里帰り出産で、その日は大雪だったそうです。生まれた時、「色の白いお子さんですよ。」と言われ、母はこんな真っ赤っかで醜い顔してるのにどこがやと思ったそうです。しかし、日が経つにつれ、白い綺麗な肌になったそうです。その時、明石家さんまのように「ほんまや！」と呟いたか、どうかは定かではないｗ

ちなみに私の名前は何個か候補がある中から、父がつけてくれました。

そして２０日後…

なんということでしょう。ストーブの上に干してあった布オムツが落ちたのが原因で火事に遭ったのです。出火した当時、私は２階で寝ていました。煙がもくもくしているのを発見した母は、怖くて腰を抜かしてしまい、火事を知らせることに必死。火事を知った祖母は、勇敢にも火の中に飛び込み、髪がチリチリになりながらも私を助け出してくれました。祖母は私の命の恩人です。私は、布団から出していた顔と手に火傷を

負ったのです。火傷を負った私は、炭になり、もはや目や鼻がどこにあるか溶けてわからず、辛うじて口はわかったらしいけど、見るも無残な状態になりました。

もう私は死んでいると思った母は、従兄弟が使っていたおくるみを息ができないくらいにグルーっと巻いたそうです。するとなんと！泣き声をあげたので、生きていることがわかったそうです。

でもヒドイ火傷で、救急病院から国立豊岡病院、そして京大と病院を転々とし、診察してくれた先生全員に「覚悟をしておいて下さい」と言われたそうです。親戚のおじさんが私を見て哀れに思い、「この子の内臓を提供するから、殺してやってほしい」と教授に頼んだとか。もうちょっとで殺されそうになったけど、法律が私を守ってくれました。とにかく完治する迄に１年かかったそうです。（7月号につづく）

《文・大同美香》

自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

・**重度訪問介護従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。

・**ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。

・**自立生活プログラム(ＩＬＰ)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。

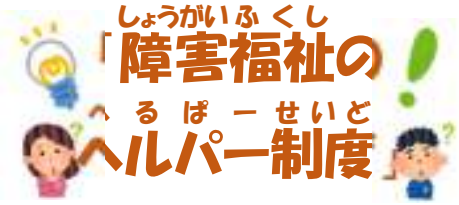
・**自立体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。

・**相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。

・**障がい者　自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間や、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか?

その他、お花見、ビアガーデン、クリスマス会などの交流の場をみんなで考えて計画しています。お気軽に遊びに来てください！

【現任研修／学習会】



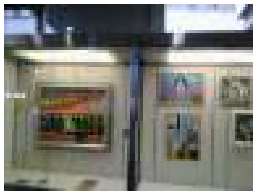
次回の学習会のテーマは「障害福祉のヘルパー制度」です。この春制度が変わりました。疑問に思うこと、知りたいことを話し合いましょう！

日時　2018年6月23日（土）10：00～12：00

場所　当事業所事務所にて

申込は、自立支援センターたかつき（072-672-1294）まで

※当日参加も可。ヘルパーさんへは、2時間分の研修参加費、交通費が支給されます。ヘルパー、利用者以外の方も参加大歓迎！



自立フォーラム絵画同好会展が終わりました

市役所の桃園ギャラリーで4月20日から行っていた絵画同好会展が5月2日におわりました。

足を運んでいただいた皆様ありがとうございました。

6月のフォーラムの予定

☆毎週木曜日はクラフトの日！

カワイイ手作り品作り、お気軽にあそびに来て下さい♪

クラフト体験は6月7日　はじめての方無料（2回目以降500円）

☆「Mディー」6月15日　コーヒー＆ティー　120円～

プラバン作り（ドリンク付き）300円です

◎お問い合わせは自立フォーラムまで

ＴＥＬ：０７２-６７２－８５３２